



TITLE:

参考文献目録、京都大学構内遺跡 調査要項昭和52年度

AUTHOR(S):

CITATION:

参考文献目録、京都大学構内遺跡調査要項昭和52年度. 京都大学構内
遺跡調査研究年報 1978, 1977: 55-63

ISSUE DATE:

1978-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/227384>

RIGHT:

参考文献目録

- 池田碩 1969年「比叡山・如意ヶ岳・東山山地の地形学的研究」、『東山学園研究紀要』第14集。
- 池田碩・石田志朗 1972年「京都大学病院内の沖積層中の木片の年代－日本の第4紀層の¹⁴C年代」、『地球科学』
- 石田志朗・池田碩 1973年「比叡平小起伏面2地点の黒土の年代」、『地球科学』第27巻第4号。
- 石田志朗・中村徹也 1972年『京都大学理学部構内遺跡発掘調査の概要』。
- 泉拓良 1977年「京都大学植物園遺跡」、『仏教芸術』第115号。
- 梅原末治 1923年「京都帝国大学農学部敷地ノ石器時代遺跡」、『京都府史蹟勝地調査会報告』第5冊。
- 1935年「京都北白川小倉町石器時代遺跡調査報告」、『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第16冊。
- 1936年『摂津阿武山古墓調査報告』、『大阪府史蹟名勝天然記念物調査報告』第7輯。
- 円勝寺発掘調査団 1972年「円勝寺跡の発掘調査(下)」、『仏教芸術』84号。
- 島田貞彦 1924年「京都市北白川町発見の石器時代遺跡」、『考古学雑誌』第14巻第5号。
- 小野山節・都出比呂志 1973年『高槻市安満遺跡の条里遺構』。
- 京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会 1977年『烏丸線内遺跡調査抄報』Vol. 19。
- 京都市文化観光局文化財保護課 1977年『京都市遺跡地図』。
- 京都大学農学部構内遺跡調査会・京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会 1977年『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』。
- 杉山信三・岡田茂弘 1961年「尊勝寺発掘調査報告」、『奈良国立文化財研究所学報』第10冊。
- 同志社大学校地学術調査委員会 1976年『同志社女子大学図書館建設予定地発掘調査概要』、『同志社大学校地学術調査委員会資料』No. 8。
- 1977年 a 『同志社キャンパス内出土の遺構と遺物』、『同志社校地内埋蔵文化財調査報告資料編Ⅰ』。
- 1977年 b 『京都府田辺町都谷中世館跡－同志社大学田辺校地内所在遺跡の発掘調査報告Ⅰ－』、『同志社大学校地学術調査委員会資料』No. 11。
- 鳥羽離宮跡調査研究所 1974年『栢杜遺跡調査概報』
- 中村徹也 1973年『京都大学農学部総合館周辺埋蔵文化財発掘調査の概要』。
- 1974年 a 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅰ』。
- 1974年 b 『京都大学理学部ノートバイオトロン実験装置室新営工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要』

中村徹也 1975年『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅱ』。

奈良国立文化財研究所 1962年『平城宮発掘調査報告Ⅱ』『奈良国立文化財研究所10周年記念学報(学報第15冊)』。

1974年『平城発掘調査報告Ⅵ』『奈良国立文化財研究所学報』第23冊。

梶崎彰一 1974年『日本の陶磁 古代中世篇』第3巻。

1975年『日本の陶磁 古代中世篇』第2巻。

日本地誌研究所 1973年『日本地誌』第14巻。

藤岡謙二郎 1973年「北白川扇状地と教養部構内発見の遺物包含層並びにその先史地理的意義」『人文』第19集。

1974年「北白川の風土的環境と現状」『北白川百年の変遷』。

平安博物館 1977年『東洞院大路・曇華院跡発掘調査報告書』『平安京跡研究調査報告』第3輯。

平安京調査会 1975年『平安京跡発掘調査報告-左京四条一坊-』。

横山浩一・佐原真 1960年『京都大学文学部博物館考古学資料目録』第1部。

横山卓夫 1974年「京都盆地, その形成過程」『同志社工学会報』第15号。

六勝寺研究会 1976年『六勝寺跡 六盛西店新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』。

京都大学構内遺跡調査要項

京都大学埋蔵文化財研究センター要項

- 第1条 京都大学に埋蔵文化財研究センター(以下「センター」という)を置く。
- 第2条 センターは、京都大学敷地内の埋蔵文化財についての調査研究及びその保存のため必要な業務を行なう。
- 第3条 センターにセンター長を置く。
- 2 センター長は京都大学の専任教授をもって充てる。
 - 3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
 - 4 センター長は、センターの所務を掌理する。
- 第4条 センターに、必要に応じて、助教授、助手その他の職員を置く。
- 第5条 センターに、調査研究及び保存に関する業務を処理するため、研究部を置く。
- 2 研究部に主任を置き、前条の教官をもって充てる。
 - 3 主任は、研究部の業務をつかさどる。
- 第6条 センターに、センターの事業に関する基本的計画人事その他管理運営に関する重要事項を審議するため、運営協議会を置く。
- 2 運営協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。
 - (1) センター長。
 - (2) センターの研究部の主任。
 - (3) 前2号以外の学内の学識経験者のうちから総長の委嘱した者、若干名。
 - (4) 事務局長及び施設部長。
 - 3 センター長は、運営協議会を招集し、議長となる。
 - 4 前各項に規定するもののほか、運営協議会の運営に関し必要な事項は、運営協議会が定める。
- 第7条 この要項に定めるもののほか、センターの組織及び運営に関し必要な事項は、センター長が定める。

附則 この要項は、昭和52年7月5日から実施する。

センター長	樋口隆康(文学部教授)	運営協議会委員	篠沢公平(事務局長)
運営協議会委員	池田次郎(理学部教授)	〃	橋本正五(施設部長)
〃	亀井節夫(理学部教授)	研究部主任	泉 拓良(文学部助手)
〃	石田志朗(理学部助教授)	研究部研究員	宇野隆夫(文学部助手)
〃	川上 貢(工学部教授)	〃	岡田保良(工学部助手)
〃	西川幸治(工学部教授)	〃	吉野治雄(施設部技術補佐員)
〃	上田正昭(教養部教授)	事務室	大八木邦雄(施設部事務官)
〃	泉 拓良(文学部助手)	〃	梅川厚子(施設部技術補佐員)

京都大学構内遺跡調査会規約

- 第1条 この会は、京都大学構内遺跡調査会(以下「調査会」という。)と称し、京都大学の委託により同大学構内における建築物新営工事等に伴い必要な敷地内の遺跡調査を行なうことを目的とする。
- 第2条 調査会は、事務所を京都市左京区北白川西町財団法人阪本奨学会内に置く。
- 第3条 調査会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行なう。
- (1) 京都大学の委託により行なう当該敷地内の埋蔵文化財についての発掘調査。
 - (2) 前号の調査により出土した埋蔵文化財の保存、管理に関する事項の審議。
 - (3) 埋蔵文化財の調査に関する発掘調査概要報告書の作成。
 - (4) その他必要とする事項。
- 第4条 調査会に次の役員を置く。
- (1) 会長1名。
 - (2) 委員
イ 京都大学の学識経験者若干名。
ロ 新営工事等の敷地の属する京都大学の部局の長または部局附属施設の長。
ハ 新営工事等の敷地の所在する地域の文化財保護行政当局の推薦する者 若干名。
 - (3) 監事若干名。
- 2 会長は、前項第2号イの委員の推薦する者とする。
 - 3 委員及び監事は、会長が委嘱する。
 - 4 第1項第2号ロ及びハの委員は、当該敷地内の遺跡調査に関する委員としての任務が終わったときは、退任する。
- 第5条 会長は、調査会を代表し、業務を総括する。
- 2 委員は、委員会を構成し、委員会の議決に基づく業務を執行する。
 - 3 監事は、調査会の会計を監査する。
- 第6条 委員会は、会長及び委員をもって組織する。
- 2 委員会は、会長が招集し、議長となる。
 - 3 委員会は、新営工事等の敷地が京都市以外の地域にある場合で、必要と認めたときは、部会を置くことができる。
- 第7条 第3条の発掘調査の実施に当たるため、調査会に調査班を置く。
- 2 調査班は、調査班長、調査員及び調査補助員をもって組織する。
 - 3 調査班長は、委員会の議に基づき会長が委嘱する。
 - 4 調査員及び調査補助員は、調査班長の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 調査会の事務を処理するため、調査会に事務局を置く。
- 2 事務局に職員若干名を置く。
 - 3 職員は、会長が任免する。
- 第9条 調査会の経費は、京都大学から支出される調査委託費をもって充てる。

第10条 調査会は、4月1日に始まる年度ごとに、事業報告書及び収支決算書を作成し、監事の監査を経て、年度終了後3月以内に委員会の承認を受けるものとする。

第11条 この規約に定めるもののほか、調査会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

- 1 この規約は、昭和52年6月1日から施行する。
- 2 調査会設立当初の会長及び委員は、京都大学遺跡調査会発起人会において定める。
- 3 この規約施行の際における京都大学農学部構内遺跡調査会及び京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会のそれぞれの事業及び財産は、本調査会が承継する。

会長	藤岡謙二郎(教養部教授)	規約第4条1項(2)ロ	熊谷直家(医療技術短期大
委員	樋口隆康(文学部教授)		学部主事)
〃	西川幸治(工学部教授)	〃	菅原 努(医学部長)
〃	足利健亮(教養部助教授)	監事	竹原 正(医療技術短期大学部事
〃	西村 進(教養部助教授)	〃	務長)
〃	泉 拓良(埋文研助手)	〃	岩井良吉(医学部事務長)
〃	太田増人(事務局庶務部長)	〃	西村利雄(施設部企画課長)
規約第4条1項(2)ハ	中山忠之(京都市文化観光	事務局員	大八木邦雄
	局文化財保護課長)	〃	浜崎綱子

調査班長・主任 泉拓良、宇野隆夫、岡田保良、吉野治雄

調査員 出田和久、鎌田博子、清水朱美、田中はる代、丹羽佑一、三木佳代子

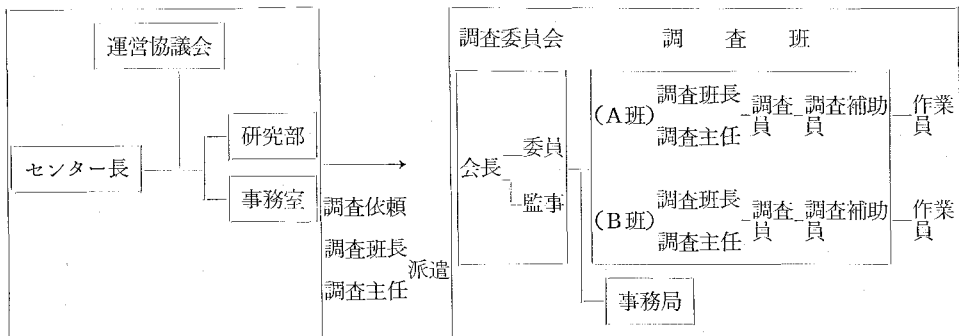
調査補助員 網谷克彦、井上豊春、岩崎仁、岩田光、上村和弘、大野富子、香川悟、小泉隆司、津隈久美子、中内均、中埜裕司、西野素生、橋本勝、長谷川忠、花谷浩、浜崎一志、原充、藤井肇、藤田康子、藤原喜信、三原山紀、家根祥多、矢野智子

作業員 赤沢俊男、井口繁司、池田イシ、五十棲春一、岩波幸太郎、木村栄三郎、小寺末之、小原洋市、佐藤初恵、榎木きぬ子、榎木マツ、中村コト、中村皓子、西村イシ、橋本俊夫、橋本敏治、橋本庄次、福井長治、福田文治、藤木恵美子、藤本信子、藤本マズエ、堀内千代、牧猪之助、森田勝晴、安田秀男、吉田龍太郎

職名は就任当時のものを用い、京都大学の職員に関しては大学名を省略した。

京都大学埋蔵文化財研究センター

京都大学構内遺跡調査会



医学部基礎医学研究室実験室予定地試掘調査

試掘期間 昭和52年 6月15日～6月18日
 面積 12m²(2m×2m 3ヶ所)
 担当者 泉拓良, 吉野治雄

理学部合同建物予定地および北部構内電気管理設予定地試掘調査

試掘期間 昭和52年 8月20日～9月17日
 面積 108m²(3m×3m 12ヶ所)
 担当者 泉拓良, 吉野治雄

教養部エレベーター予定地試掘調査

試掘期間 昭和52年12月12日～12月21日
 面積 80m²(8m×5m 2ヶ所)
 担当者 宇野隆夫

京大病院遺跡 AH17 区調査班

工事名 医学部附属病院 RI 診療棟新営
 発掘期間 昭和52年 1月30日～3月5日
 面積 約 220m²
 調査班長 泉拓良
 調査員 岡田保良, 田中はる代, 三木佳代子
 調査補助員 3名 整理に参加した調査補助員は, 上村和弘, 中内均, 藤井肇である。
 備考 本調査班は旧京都大学農学部構内遺跡調査会のもとで編成され, 整理作業その他は京都大学構内遺跡調査会に引き継がれた。

瀬戸遺跡調査班

所在地 和歌山県西牟婁郡白浜町京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所
 発掘期間 昭和52年 2月15日～3月31日
 面積 約 310m²
 調査班長・主任 泉拓良, 丹羽佑一
 調査員 宇野隆夫, 鎌田博子, 清水朱美
 調査補助員 6名 整理に参加した調査補助員は, 網谷克彦, 藤原喜信, 家根祥多である。
 備考 本調査班は旧京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会のもとで編成され, 整理作業その他は京都大学構内遺跡調査会に引き継がれた。

京大病院遺跡 AF14 区調査班

工事名 医療技術短期大学部校舎第2期新営
 発掘期間 昭和52年 6月15日～8月31日
 面積 約 790m²
 調査班長・主任 岡田保良, 宇野隆夫
 調査員 出田和久, 清水朱美, 田中はる代, 三木佳代子
 調査補助員 16名 整理に参加した調査補助員は中内均, 西野素生, 藤井肇である。
 作業員 20名

京大医学部遺跡 AO18 区調査班

工事名 医学部基礎医学研究室実験室新営
 発掘期間 昭和52年11月1日～昭和52年12月28日現在実施中
 面積 約 1200m²
 調査班長・主任 泉拓良, 吉野治雄
 調査員 出田和久, 清水朱美, 田中はる代
 調査補助員 7名
 作業員 25名

第3表 京都大学構内遺跡調査の歴史

(地点は図版1を参照、年報は京大埋文年報をさす)

年 度	遺跡名 調査名	地点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	そ の 他
大正12年	農 学 部	1・2	浜 田 耕 作	表採・試掘			縄文土器、石器他	梅原23, 島田24	
13年	農 学 部	不明	藤本理三郎				石 棒	横 山・佐原60	
昭和9年	大阪府阿武山古墳		梅 原 末 治	発 掘			乾漆棺, 玉飾枕他	梅原36	
10年	北白川小倉町		梅 原 末 治				縄文土器、石器他	梅原35	
31年	農 学 部	3	羽 館 易	採 集			縄 文 土 器		
46年	農 学 部	4	石 田 志 朗	採 集			弥生土器		
47年	農 学 部	5		採 集			石 棒		
	大阪府安満		小 野 山 節 都出比呂志	事前発掘	1500	条里の溝	弥生土器、石器他	小野山・都出73	建物をずらし条里の溝を保存
	追分地藏	6	石 田 志 朗 中 村 徹 也	事前発掘	600		弥生土器、石器他	石 田・中村72	
	教養部	7	藤岡謙二郎	工事中採集・実測			縄文土器他	藤岡73	
48年	農 学 部	8	中 村 徹 也	事前発掘		瓦 溜	縄文土器、瓦(平安)他		瓦溜埋戻し
	農 学 部	9	中 村 徹 也	事前発掘	600		縄文土器、土師器他	中村73	
	農 学 部	10	中 村 徹 也	事前発掘	40		縄文土器他		
	植 物 園	11 a	中 村 徹 也	事前発掘	400	縄文後期 甕棺・配石遺構	縄文土器他	中村74 a, 泉 77	甕棺・配石遺構の移築復原を決定
49年	農 学 部	12	中 村 徹 也	事前発掘	800		縄文土器他	中村74 b	
	植 物 園	11 a ~ d	中 村 徹 也	追加調査		甕棺・配石遺構	縄文土器他	中村74 a	甕棺・配石遺構取上げ
	農 学 部	13	中 村 徹 也	事前発掘	800		縄文土器他	中村75	
50年	教養部	14	小 野 山 節 中 村 徹 也	事前発掘	750		縄文土器他		
51年	教養部 AL24区	15	泉 拓 良	立 合		瓦溜, 溝	弥生土器、瓦(平安)他	年報77	工事を中断して一部発掘、遺跡発見届提出

年 度	遺跡名 調査名	地点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	そ の 他
昭和51年	農学部 BE 33区	16 a～h	泉 拓 良	事前発掘	900	縄文時代 土坑、不 定形ピ ット群、井 戸、集石 ピット、 溝他	縄文土器、 須恵器、土 師器、瓦他	年報77	
	北 部 BK 30区	17	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	病 院 AE 15区	18	泉 拓 良	試 掘	20	ピ ッ ト	土師器、瓦 他	年報77	工事中断 遺跡発見届 提出
	病 院 AE 15区	19	岡 田 保 良	事前発掘	2200	池、溝、 柱穴、井 戸、土器 溜他	土師器、陶 磁器、瓦他	年報77	
	病 院 AH 17区	20	岡 田 保 良	試 掘			土師器、瓦 他	年報77	工事予定地 の発掘調査 決定
	北 部 BF 28区	21	泉 拓 良	試 掘				年報77	工事の時に 立合
	本 部 AV 28区	22	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	和歌山県 瀬 戸		中 村 友 博	試 掘			縄文土器、 弥生土器他	年報77	工事予定地 の一部発掘 調査決定
	奈良県宇 陀郡大宇 陀町カタ ブキ		大 宇 陀 町 教育委員会	遺跡確認				年報77	遺跡ではな い
	本 部 AV 27区	23	泉 拓 良	試 掘	30		土 師 器(鎌 倉以降)他	年報77	工事の時に 立合
	本 部 AV 27区	24	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	北 部 BE 34区	25	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	北 部 BD 29区	26	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	北 部 BF 28区	27	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	病 院 AI 18区	28 a～e	泉 拓 良	試 掘	30	溝	土 師 器(平 安以降)他	年報77	一部を発 掘、その他 を立合に決 定
	植 物 園 BD 35区	29	吉 野 治 雄	保 存				年報77	墓 棺・配 石 遺構を移築 復原
	本 部 AV 23区	30	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	本 部 AT 25区	31	泉 拓 良	立 合				年報77	工事続行
	本 部 AU 29区	32	泉 拓 良	立 合		ピ ッ ト	土 師 器(鎌 倉以降)他	年報77	工事続行

年 度	遺跡名 調査部位	地点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	そ の 他
昭和51年	本 部 AZ 28区	33	泉 拓良	立 合			縄文土器細片		工事続行
	病 院 AH17区	34	泉 拓良	事前発掘	200	溝, 井戸, 集石, ピ ット他	土師器, 陶 磁器, 瓦(平 安以降)他	年報78	
	教 養 部 AS 23区	35	吉野 治雄	試 掘	10	溝	縄文土器, 須恵器(奈 良)他	年報77	工事の時に 立合
	北 部 BJ 33区	36 a・b	宇野 隆夫	試 掘	10		縄 文 土 器	年報77	
	医 学 部 AP 18区	37	泉 拓良	立 合			土 師 器(平 安以降)他	年報77	工事続行
	病 院 AI 18区	38 a～e	泉 拓良	立 合		石 敷	土 師 器(室 町以降)他	年報77	一部実測, 工事続行
	和歌山県 瀬 戸		丹羽 佑一	事前発掘	300	縄文時代 土壌他	縄文土器, 石器, 弥生 土器他	年報78	
昭和52年	病 院 AF 14区	39	岡田 保良 宇野 隆夫	事前発掘	800	護岸, 井 戸, 溝他	土師器, 陶 磁器, 瓦他	年報78	
	医 学 部 AO 18区	40 a～c	泉 拓良 吉野 治雄	試 掘	10	鎌倉時代 土壌	土師器, 陶 磁器他	年報78	工事予定地 の発掘調査 を決定
	医 学 部 AO 18区	41	泉 拓良 吉野 治雄	事前発掘	1200	溝, 井戸, 土器溜他	土師器, 陶 磁器, 瓦他	年報78	
	北 部 BF 29区	42 a～f	泉 拓良 吉野 治雄	試 掘	50		縄文土器, 植物遺体他	年報78	
	北 電 気 管 g～l	42	吉野 治雄	試 掘	50		須恵器, 土 師器他	年報78	
	北 電 気 管 a～c	43	吉野 治雄 宇野 隆夫	立 合		溝, ピッ ト	須恵器, 土 師器他	年報78	実測・遺物 採集の後, 工事続行
	本 給 水 管	44	宇野 隆夫	立 合				年報78	工事続行
	本 ガ ス 管	45	宇野 隆夫	立 合				年報78	工事続行
	医 学 部 ガ ス 管	46	岡田 保良	立 合			土師器他	年報78	工事続行
	病 院 給 水 管	47	岡田 保良	立 合				年報78	工事続行
	教 養 部 AO 23・ AO 23区	48 a・b	宇野 隆夫	試 掘	80	溝	弥生土器, 土師器, 瓦 (平安後期) 他	年報78	